

業績／主要な経営指標等の推移

Kirayaka Bank

経済環境

国内経済は緩やかに回復しており、先行きについては雇用・所得環境が改善する中、各種政策の効果により回復が続いていくことが期待されております。一方で世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に注視していく必要があります。

当行グループ（当行及び当行の関係会社）の営業エリアである山形県経済につきましても一部に弱さが見られるものの、個人消費や雇用情勢など総じて緩やかな持ち直しの動きとなりました。

きらやか銀行

■業績（連結）

経営成績につきましては、経常収益は、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したものの、その他経常収益が増加したことなどから、前年同期比1億66百万円増加し115億52百万円となりました。経常費用は、大口与信先に関連する貸倒引当金計上などの前年度の特異要因がなくなったことなどにより

前年同期比29億95百万円減少し106億52百万円となりました。その結果、経常利益は、前年同期比31億61百万円増加し9億円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、法人税等調整額が減少したことなどから、前年同期比54億円増加し6億67百万円となりました。

主要な経営指標等の推移（連結）

（単位：百万円）

決算年月	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2022年3月期	2023年3月期
連結経常収益	11,848	11,386	11,552	24,024	22,700
連結経常利益（△は連結経常損失）	1,308	△2,261	900	1,999	△5,888
親会社株主に帰属する中間純利益 （△は親会社株主に帰属する中間純損失）	861	△4,733	667	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益 （△は親会社株主に帰属する当期純損失）	—	—	—	1,033	△8,322
連結中間包括利益	172	△11,307	37	—	—
連結包括利益	—	—	—	△8,144	△15,575
連結純資産額	64,287	44,258	58,028	55,769	39,990
連結総資産額	1,405,708	1,348,549	1,347,159	1,385,020	1,363,855
1株当たり純資産額	210.75 円	87.14 円	67.89 円	157.83 円	67.14 円
1株当たり中間純利益 （△は1株当たり中間純損失）	4.53 円	△29.39 円	1.12 円	— 円	— 円
1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	4.79 円	△48.82 円
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	1.66 円	— 円	— 円	— 円	— 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	1.97 円	— 円
連結自己資本比率（国内基準）	8.05 %	8.11 %	9.98 %	8.26 %	7.49 %

（注） 1. 2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。
 2. 2023年3月期及び2023年9月期の潜在株式調整後1株当たり（中間）当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 3. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国内基準を採用しております。

主要な経営指標等の推移

Kirayaka Bank

業績（単体）

経常収益は、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことなどから、前年同期比1億52百万円減少し86億42百万円となりました。経常費用は、与信関連費用が前年同期比33億44百万円減少したことなどから、前年同期比32億11百万円減少し78億21百万円となりました。

その結果、経常利益は、前年同期比30億58百万円増加し8億20百万円、中間純利益は、法人税等調整額が減少したことなどから、前年同期比52億94百万円増加し6億20百万円となりました。

主要な経営指標等の推移（単体）

（単位：百万円）

決算年月	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2022年3月期	2023年3月期	
経常収益	9,235	8,794	8,642	18,415	17,400	
経常利益（△は経常損失）	1,396	△2,238	820	1,976	△5,921	
中間純利益（△は中間純損失）	983	△4,673	620	—	—	
当期純利益（△は当期純損失）	—	—	—	1,078	△8,334	
資本金	24,200	24,200	33,200	24,200	24,200	
発行済株式総数	普通株式	161,013 千株	161,013 千株	851,209 千株	161,013 千株	592,216 千株
	第Ⅳ種優先株式	100,000 千株	100,000 千株	— 千株	100,000 千株	— 千株
	第Ⅴ種優先株式	50,000 千株	50,000 千株	— 千株	50,000 千株	— 千株
純資産額	64,824	45,038	59,093	56,552	41,163	
総資産額	1,397,640	1,340,676	1,339,537	1,376,622	1,355,736	
預金残高	1,290,096	1,260,231	1,222,592	1,285,785	1,273,029	
貸出金残高	1,004,330	976,617	972,736	998,837	981,875	
有価証券残高	245,741	220,937	218,214	231,402	220,864	
1株当たり純資産額	215.47 円	93.39 円	69.42 円	164.09 円	69.50 円	
1株当たり中間純利益 （△は1株当たり中間純損失）	5.29 円	△29.02 円	1.04 円	— 円	— 円	
1株当たり当期純利益 （△は1株当たり当期純損失）	— 円	— 円	— 円	5.07 円	△48.89 円	
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	1.89 円	— 円	— 円	— 円	— 円	
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	2.05 円	— 円	
1株当たり配当額	普通株式	0.44 円	0.00 円	0.00 円	0.88 円	0.00 円
	第Ⅳ種優先株式	1.30 円	0.00 円	0.00 円	2.61 円	0.00 円
	第Ⅴ種優先株式	0.00 円	0.00 円	0.00 円	0.00 円	0.00 円
単体自己資本比率（国内基準）	8.19 %	8.25 %	10.16 %	8.42 %	7.66 %	
従業員数 （外、平均臨時従業員数）	833 人 (192 人)	765 人 (174 人)	699 人 (149 人)	811 人 (189 人)	729 人 (170 人)	

（注）1. 2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。
2. 2023年3月期及び2023年9月期の潜在株式調整後1株当たり（中間）当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国内基準を採用しております。